

新宮山彦ぐるーぷ第1904回  
**平治宿トイレ雨樋交換と小屋雨樋整備など及び  
 行仙宿巡回整備・小屋番と賞状移動など**

◇実施日；2016年10月29日（土） 小雨のち晴れ

◇参加者；沖崎吉信、生熊敏男・千満子、児嶋道夫、畑林秀味、  
 青木宏充、梶野照雄。 7名。

11月はいろいろな行事が多く、準備が整っている案件から順に片付けていこうとの思いで、先週の大日岳・深仙小屋に続いて平治宿トイレの雨樋交換を行った。

午前6時に家を出る。まだ雲は厚く、R169の川上村付近から霧雨が降り出す。天気予報を信じて南下を続けると、下北山の道の駅付近から太陽が顔を出し始めた。



池郷林道ゲートで



平治宿へと向かう



池原スポーツ公園駐車場に着くと青木車が先着していた。しばらくして沖崎車も到着、沖崎、梶野車2台で持経宿へ向かう。林道に入って5分ほどで左前輪がパンク、内側サイドが2cm程

切れていた。10分ほどで交換して慎重に走行する。路面は乾燥状態、途中の沢にも流れは見られず、雨は殆ど降っていないようだった。

午前9時50分、持経宿に到着。荷物を手分けして全員で平治宿へ向かう。少し風があつて、じっとしていると寒さを感じるが、落ち葉が敷き詰められた奥駈道を南下して行くと、すぐに体が暖かくなってくる。

予定通り11時過ぎに平治宿到着。青木、梶野はトイレ雨樋交換、沖崎、児嶋、畑林の3氏は、薪作りやソーラー発電の点検、不用品の整理など、生熊さんは小屋雨樋の落葉除けネット取付けとそれぞれ分担して作業を開始する。



既存の樋を撤去



交換後の雨樋



トイレ雨樋の交換には、先日栗原さんに寸法を測って頂いたのが役立ち、サイズ調整をすることなくピツタリと合い、スムーズに作業が行えた。50分で取換は完了。ドラム缶上の垂直部樋は接着せずに差し込んでいただけなので、ドラム缶の移動時にはすぐに外すことができる。

12時を少し過ぎていたので全員に声をかけて小屋内で昼食に

する。児嶋さんがストーブに火を入れてくれていたので、小屋内は少し暖かい。食後は定番のKOJIMA CAFEでゆっくりした。



マキ割り中

樋に落葉除けネット取付け

古いカーペット

昼食後、残っている作業を続ける。青木さんが水場点検に降り問題のないことを確認、水場降口の斜木を一本切除したとのこと。午後1時25分、古いカーペットや空のカセットボンベなどを背に平治宿を離れた。



本日の参加者

持経宿で1名を乗せて

何とか行仙登山口に

持経宿に戻ると、横浜からの4名が到着していた。日程が1日遅れていて、おまけに一名が足首のねん挫で断念するという。この一名を池原まで送ることになったが、池原到着後に新宮で一泊することになり、沖崎さんが新宮まで乗せて送られた。

池原で沖崎車と別れて、青木車と2台で行仙宿に向かう。JASINヨップで買い物をして外に出てみると、右前輪がペチャンコになっていた。先行していた青木さんに電話して戻ってもらう。タイヤを外して青木車に積み、パンク修理出来る場所を探す。

すぐ南のGSは出来なかったが、池峰の自動車修理工場が修理ができた。幸い接地面の穴だったので修理できたが、サイドの傷だったら、またタイヤをもって車を取りに来なければならぬところだった。ラッキーな偶然と、青木さんの援助に感謝しなければならぬ。パンク修理で1時間ほどのロス、午後4時45分行仙宿補給路登山口に到着。工具だけ持って急いで小屋を目指す。



賞状を小屋内に一括掲示

本日の宿泊者

少し明るくLEDに交換

午後5時20分行仙小屋に到着。小屋では8名のグループが食事中。単独の1名が、笠捨山へ行ったがまだ帰っていない。管理棟を開けて賞状を確認すると2枚だった。先に小屋に移し

た2枚と合わせて4枚を西側の窓上に掲示する。額の下縁は窓上のくぼみに収まり、用意した金具は使うことなく、引っ掛けるヒートンをネジ込むだけで掲示終了。

玄関灯を少し明るいLEDに交換して行仙小屋の作業終了  
管理棟でカップ麺とサトウのごはん、沖崎さんの差し入れで食事。午後6時半、宿泊者多数のため、急遽小屋番をする事になった青木さんを残して下山する。

7名のグループが行仙宿を予約していたが、大幅な遅れで持経宿に変更したため、持経宿に小屋番が必要だったかもしれない。

### 行動タイム

8:20池原スポーツ公園8:50→9:55持経宿10:05→11:05平治宿  
13:25→14:10持経宿14:36→15:15スポーツ公園16:10→16:45  
行仙宿補給路登山口→17:20行仙宿18:30→19:00補給路登山口。

(記:梶野)